

21・老福連 第14回職員研究交流集

21・老福連 第14回職員研究交流集会 in 島根



地域の中心で平和と福祉の縁むすび
~高めよう人間性! 極めよう専門性! 今こそ地域の根っこにならっしゃい~

開催要綱

日時

2014年 12月13日(土)~15日(月)

会場

12月13日/15日 松江テルサ
14日 くびきメッセ・労働者福祉会館
松江市市民活動センター

参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
1日目夜 交流会 9,000円

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)

後援

島根県 松江市 島根県社会福祉協議会
島根県老人福祉施設協議会 松江市社会福祉協議会
島根県社会福祉士会 島根県介護福祉士会
認知症の人と家族の会 しまね小規模ケア連絡会

参加の呼びかけ

全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称:21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉施設の連絡組織として、2002年6月に発足いたしました。発足にあたって、

介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う
高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

今年は「税と社会保障の一体改革」による消費税の値上げが行われました。来年は介護保険制度・介護報酬の改定が行われます。高齢者の暮らしだけではなく私たちの暮らしも厳しくなっており公的福祉の確立の重要性が増しています。このような中で社会保障、社会福祉とはどうあるべきかを今年の交流集会でも考えて行きたいと思えます。

今年の職員研究交流集会は、「地域の中心で平和と福祉の縁むすび～高めよう人間性！極めよう専門性！今こそ地域の根っこにならっしゃい～」をテーマに島根で開催します。今年も多くの介護実践を持ち寄り、学びを深めて希望と元気を持ち帰りご縁を活かす職員研究交流集会となるよう多くの方々のご参加を、ご縁の国しまねにてお待ちしております。

日 時

2014年 12月 13日(土) 13:00～17:00 交流会 19:00～
14日(日) 9:00～16:00
15日(月) 9:10～12:00

会 場

12月13日 / 15日 松江テルサ
14日 くびきメッセ・労働者福祉会館
松江市市民活動センター

参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
1日目夜 交流会 9,000円

主 催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称 21・老福連)

Tel:06-6770-1600 Fax:06-6770-1611

E-mail:roufuku@siren.ocn.ne.jp HP:<http://www.roufukuren.jp/>

➤ お問い合わせ先 現地実行委員会事務局

社会福祉法人ひまわり福祉会高齢者福祉施設ひまわり園(担当:大塚)

Tel:0853-43-2633 Fax:0853-43-2747 E-mail:ohtsuka@w-himawari.or.jp

申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

参加申込締切 10月 15日 (水)

申込受付後、11月上旬より名鉄観光から、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

テーマ

地域の中心で平和と福祉の縁むすび

～高めよう人間性！極めよう専門性！今こそ地域の根っこにならっしゃい～

目的

介護保険制度導入時の理念である「介護の社会化」を根底から覆す制度改定が、来年度から実施されます。介護が必要と認定された高齢者 550 万人のうち要支援に認定された 160 万人を介護保険から分断し、特養待機者 52 万人のうち要介護 1・2 と認定された高齢者 18 万人を入居対象から外し、利用権を奪われた介護難民が生み出されます。介護保険施行当時「保険あって、介護なし」が懸念されましたが、今や「介護あって、保険なし」という状況が目前に迫っています。利用権を奪われた高齢者は誰が救うのか？ 社会保障制度改悪にどう立ち向かうのか？

また一方で、憲法の三大原則の平和主義を黙殺し、解釈改憲で集団的自衛権行使容認を狙う、きな臭い政権運営にも目を背けるわけにはいきません。戦後 70 年を迎えるにあたり、かつてない危険極まる情勢を認識し、平和と福祉の不可分な関係についてしっかり学び、次につなぐ集会にしたいと考えています。

プログラム

1 日目 12 月 13 日(土) 《全 体 会》

11:00 ~	受付開始 早めに受付を済ませ近くの観光(松江城、堀川遊覧船)はいかがでしょうか
13:00 ~ 13:10	歓迎セレモニー
13:10 ~ 13:30	開会挨拶・オリエンテーション
13:30 ~ 13:50	21・老福連からの基調報告 講師:21・老福連事務局長 正森 克也氏
13:50 ~ 14:50	記念講演 「やさしい憲法」 講師:岡山中庄架け橋法律事務所 弁護士 呉 裕麻氏
14:50 ~ 15:05	休憩
15:05 ~ 17:00	トークセッション「とことん憲法」 コーディネーター 特養ひまわり園 新館施設部長 須田 英男氏 ゲストスピーカー 岡山中庄架け橋法律事務所 呉 裕麻氏 スピーカー 調整中 スピーカー 調整中
17:00 ~ 17:15	2 日目会場説明
17:15 ~ 17:45	分科会説明

《交 流 会》

19:00 ~ 21:00	豪華な料理とおいしいお酒に舌鼓を打ちながら、この出会いのご縁を深めましょう。見て、聞いて、参加して楽しい催しを企画しています。
---------------	---

2 日目 12 月 14 日(日) 《分 科 会》

08:30 ~	受付開始
09:00 ~ 16:00	分科会・分散会

3 日目 12 月 15 日(月) 《全 体 会》

08:30 ~	受付開始
09:10 ~ 10:25	記念講演 「とつぜん被曝者になること」 講師:くわの福祉会 地域支援部長 寺崎 友恵氏 主任 福田 あつ子氏
10:25 ~ 10:35	休憩
10:35 ~ 11:50	記念講演 「思い出かたりは元気のもと」 講師:出雲市民病院 麻酔科部長 鈴木 正典氏
11:50 ~ 12:00	閉会式・次回開催地挨拶

12月13日(土) / 15日(月)

基調報告

13日(土) 13:30~13:50

21・老福連 事務局長 正森 克也氏

2015年度介護保険制度改定は、「地域包括ケアシステム」の名のもとに大きな舵を切ろうとしています。保険料を払っていても、まともな介護が受けられない介護保険制度。「川上から川下へ…」と例えられるように、病院や介護施設から追い出された高齢者が地域で、ボランティアに支えられる仕組みが「地域包括ケアシステム」なのでしょうか？地域の中で暮らしを守る「権利としての社会福祉」を貫く私たちの仕事について、一緒に考えましょう。

記念講演

13日(土) 13:50~14:50

「やさしい憲法」

講師：岡山中庄架け橋法律事務所 弁護士 呉 裕麻氏

私たち福祉に携わる職員は、高い人権意識が必要です。でも、その人権が大切だという考え方はどこから来たものでしょうか？すべてのルーツに繋がるのが「憲法」です。私たちや利用者の方の日常に、憲法が存在していることを気付かされるお話です。憲法の堅苦しいイメージががらりと変わることをお約束します。

トークセッション

13日(土) 15:05~17:00

「とことん憲法」

コーディネーター	特養ひまわり園 新館施設部長 須田 英男氏
ゲストスピーカー	岡山中庄架け橋法律事務所 弁護士 呉 裕麻氏
スピーカー	調整中
スピーカー	調整中

憲法の基本的な考え方を学んだ後は、これからの世代を担う若者の声に耳を傾けてみましょう。同じ福祉の現場で働く仲間のトークセッションです。特養の高齢者は個人として尊重されているの？幸せの意味って何？・・・利用者の方に接する場面を思い出し、「あるある！」と感じる一方で、ドキリとさせられるトークをお楽しみください。心に何か引っかかりを覚えた方は、明日の分科会で自分の想いを話してみましょう。

記念講演

15日(月) 9:10~10:25

「とつぜん被曝者になること」

講師：くわの福祉会 地域支援部長 寺崎 友恵氏
主任 福田 あつ子氏

2011年3月11日14時46分 あれから福島の実状は、私たちの生活は、職場環境は一変してしまいました。私たちにできることは、福島に起こったこと、そして現状を一人でも多くの方に知っていただき、同じ過ちを二度と繰り返さないこと。子どもたちの未来のために原発ゼロを目指して共に闘って行きましょう。

記念講演

15日(月) 10:35~11:50

「思い出かたりは元気のもと」～回想法は記憶の財産 長期記憶を活用した楽しく知的な楽しみ法～

講師：出雲市民病院 麻酔科部長 鈴木 正典氏

言葉を忘れない、交流能力の向上、役割を持つことに喜びを感じ、満足感、自尊心を取り戻して脳の活性化、認知症の予防や進行を防ぐ。また、介護をする職員や家族は高齢者の人生を理解して、心からの敬愛を生じ、質の高い個別ケアが生まれます。昔話、苦勞話、自慢話は「すれば、するほど艶がでる」～という楽しいお話です。

No	分科会名	テーマ	分散会	分散会名	座長	助言者
A (施設 ケア)	施設でその人らしい暮らしを支える	<p>その人らしい暮らしを支えることを中心に、日常生活の中での支援のあり方や個別ケアの工夫、認知症ケアの取り組み、医療と介護の連携、最期まで食べることを大切にしたい取り組みなど、現場での実践事例を持ち寄り学び合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み ・その人のQOLからつながるリハビリや外出支援などの取り組み ・排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫実践 ・チームケア、多職種協働による実践 ・認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践 ・認知症高齢者の尊厳を大切にしたいケアの取り組み ・医療ニーズへの対応と課題 ・感染症予防対策の取り組み ・皮膚ケアの充実、褥瘡予防の取り組み ・生活の延長にある看取りケアの実践 ・最期まで食べることを大切にしたい実践 ・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み ・栄養ケアマネジメントの取り組み ・調理現場における個別対応と調理の工夫 ・サービス機関との連携、地域資源の活用 	A-1	豊かな日常を支える	東京 みやま大樹の苑 施設長 稲垣 瑞恵	群馬 榛名憩の園 施設長 大美賀 亨
				豊かな日常を支える	福島 おおつき 調整中	調整中
				豊かな日常を支える	京都 原谷こぶしの里 施設長 介山 篤	調整中
			A-2	認知症の方のケアを考える	群馬 誠の園 施設長 若林 毅	愛知 シルバーピアかりや 施設長 早川 昌宏
				認知症の方のケアを考える	兵庫 にしのみや苑 調整中	岡山 健生園 施設長 竹永 徹
				重度化した高齢者への対応(医療と介護の連携・看取り等)	広島 くすの木苑 調整中	調整中
			A-3	重度化した高齢者への対応(医療と介護の連携・看取り等)	熊本 たくまの里 調整中	東京 すこやか福祉会 調整中
				重度化した高齢者への対応(医療と介護の連携・看取り等)	石川 なんぶやすらぎホーム 調整中	愛知 ちあき 施設長 立花 弘美
			A-4	食について考える	大阪 いのこの里 調整中	宮城 田子のまち 施設長 丸田 礼子
			B (在宅)	在宅生活を支える施設の役割を考える	<p>在宅生活を支えるショートステイやデイサービスの役割や課題、地域のネットワーク、医療ニーズの高い利用者への対応についての実践事例を持ち寄り学び合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ、デイサービス特有の課題、難しさ、工夫した取り組み ・認知症高齢者のショートステイ、デイサービスでの支援の工夫 ・緊急ショート受け入れ(高齢者虐待での対応等) ・ショートステイの洗濯、荷物点検、服薬の管理の課題と工夫 ・デイサービスの役割と求められるニーズの変化 ・デイサービスでのレクリエーション活動等の工夫 ・在宅介護を支える上での家族支援の取り組み、世帯単位での支援のあり方 ・アセスメントとリスク管理、情報共有 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・チームケア、多機能協働、他機関との連携による支援 	B-1
B-2	通所の取り組みを中心に	大阪 いのこの里 調整中				滋賀 あやめの里 施設長 片岡 正
	通所の取り組みを中心に	調整中				山形 とかみ共生苑 部長 高梨 友也
B-3	医療ニーズへの対応と課題	長崎 青葉苑 施設長 榎本 哲子	北海道 かりぶ・あつべつ 施設長 田名部 みどり			
C (ケアハウス等)	有料ホーム・ケアハウス・サ高住など多様な住まいの機能と役割を考える	<p>高齢者の住まいの普及が促進され、各地で多様な住まいが建設されています。サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム(住宅型、介護付き)、グループリビングなど、これらが「老人の住まいと介護」の保障になり得るのか、また安心の住まい「終の棲家」になり得るのか、事例を持ち寄り、現状と課題を議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題 ・中重度者への対応 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・地域でのネットワークと連携 	C	ケアハウス・有料老人ホーム・サ高住等多様な住まいの機能と役割	愛知 ケアハウスすこやかかの里 施設長 阿藤 広志	福岡 ケアハウスらいふ戸畑 施設長 内田 義則

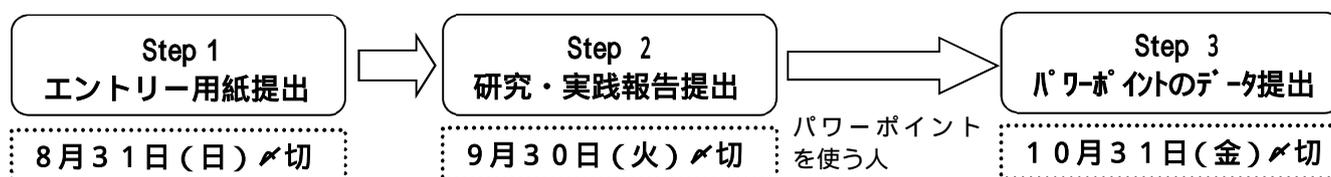
D (養護)	養護老人ホームの役割と課題を考える	<p>養護老人ホームの役割と今後の運営について、現状課題や固有の問題について議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホームのあり方、利用者への生活支援 ・精神疾患等のある利用者への支援 ・「外部利用型」の導入など制度転換の実態と対応 ・ショートステイの取り組み ・自治体との連携、低所得者・社会適応困難高齢者の実態 	D	養護老人ホーム	大阪 城東養護老人ホーム 副施設長 横山 道夫	岡山 岡山市会陽の里 施設長 藤岡 理恵
E (地域)	地域で暮らし続けることを支える	<p>(訪問介護)</p> <p>度重なる制度改定に、利用者・家族の在宅生活は、大きな影響を受けています。看取り、独居の認知症高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通して、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者の主張...「やりがいはあるけど、何とかしてよ！この現実」 ・生活援助の専門性...「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える ・ヘルパーの担う「医療行為」...研修制度、事故のリスクなど考えておきたい事 ・この家で最期まで...在宅での看取りの実践 ・介護報酬改定においての訪問介護現場での影響と支援 	E-1	在宅を支える ホームヘルプサービス	調整中	調整中
		<p>(グループホーム)</p> <p>地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームのあり方、重度化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームでのケアのあり方、「看取り」「家庭復帰」などの実践 ・グループホームの役割、地域の関わり、連携 ・グループホームでの認知症ケアの実践 	E-2	グループホームケア	調整中	島根 ひまわり福祉会 理事 加藤 都
		<p>(小規模多機能施設)</p> <p>住み慣れた地域で暮らし続けるため「通い」「訪問」「泊まり」のサービスとして、創設されましたが、報酬上の問題や小規模多機能としての役割など、メリットとともに多くの問題が浮かび上がっています。在宅生活を支える取り組みや課題について、実践事例を通して議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能施設の役割と地域との連携 ・認知症になっても地域で暮らせるための施設の役割 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 	E-3	小規模多機能施設	東京 すこやか福祉会 調整中	京都 七野会 調整中
		<p>(居宅介護支援・地域包括支援・在宅介護支援センター・特養相談部門)</p> <p>高齢者は、地域で暮らし続ける中で、たくさんの生活問題を抱えます。安心して暮らすことができる地域づくり、コミュニティケアについて、また市町村独自の制度など、その人らしい生活が支援できる地域包括ケアの姿について、実践例や課題を持ち寄り議論しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアの新たな役割と課題 ・権利擁護について(虐待防止・早期発見・成年後見制度の活動報告) ・行政の連携と地域ケア会議について ・事業所の運営とケアマネジャーの「質の向上」への取り組みについて ・多問題家族や一人暮らし、老老介護など困難事例への取り組み ・在宅における看取りの取り組み ・障害のある家族支援の取り組み 	E-4	地域づくり、コミュニティケア・在宅 介護で困難(重度化等)な事例の 対応	兵庫 喜楽苑 施設長 小林 浩司	調整中

<p>F (安心・安全)</p>	<p>安心・安全な生活を考える</p>	<p>日常生活の中には、多くのリスクが存在します。リスクへの対応をどのように捉えるかで、利用者の生活の有り様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習且つ移動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。東日本大震災を教訓に、明らかになった課題についても考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生した事故から学んだこと、再発防止、改善の工夫 ・身体拘束防止、虐待防止の取り組みと課題 ・オンブズマンや第三者機関活動の実例 ・その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践 ・事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼関係づくり ・事故対策のマニュアルとその活かし方(ヒヤリ・ハットの活用) ・高齢者の生活とリスクマネジメントについて ・震災の教訓から防災計画等に活かしたこと 	<p>F</p>	<p>安心・安全な生活</p>	<p>福島 はなしのが調整中</p>	<p>福岡 いきいき八田調整中</p>
<p>G (職場作り)</p>	<p>誇りと自信を持ち働きがい、やりがいのある職場づくりを考える</p>	<p>職員が誇りと自信を持って元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい8Kが実感できる職場づくりについて話し合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の活性化につながる取り組み ・自分の考えや意見を本音でぶつけ合い、職場の問題に取り組んだ事例 ・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて ・管理職や上司、他職種とのコミュニケーションについて ・研修制度、職員育成の工夫や悩みなど ・チームワークや協力・連携への課題など ・8K(希望・輝き・絆・きづき・きらめき・感謝・感激・感動)を感じた瞬間 ・介護キャリア段位制度がもたらすこと 	<p>G</p>	<p>職場作り</p>	<p>大阪 いのこの里調整中</p>	<p>調整中</p>
<p>G (職場作り)</p>	<p>職場作り</p>	<p>調整中</p>	<p>調整中</p>	<p>調整中</p>	<p>調整中</p>	<p>兵庫 あしや喜楽苑施設長 田中 喜代子</p>
<p>H (事務)</p>	<p>福祉施設における事務の役割を考える</p>	<p>事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境のなか、「実務の要」としての役割がますます重要になっています。また、行政や地域との関係づくりの上でもその能力を求められています。事務部門の役割についての議論を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設における事務部門の役割、他部門との連携の工夫 ・事務、経理、総務業務の効率化、経営データの活用 ・事務部門からみた介護保険制度の問題 ・施設の民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加 ・全職員参加の経営、処遇改善に向けた取り組みなど ・情報管理の工夫 ・守秘義務と情報公開の課題 	<p>H</p>	<p>事務の役割を考える</p>	<p>大阪 槻ノ木荘施設長 弟子丸 孝子</p>	<p>千葉 やわら木苑総施設長 伊藤 裕之</p>
<p>I</p>	<p>家族介護者を支える</p>	<p>介護保険は「介護の社会化」をうたっていましたが、依然として家族介護に頼る実状があります。在宅介護と施設介護の費用や介護負担の違いなど課題は山積していることに加え、在宅介護の4人に1人はうつ傾向が見られる、心身の疲労を抱えているなどの報告もあり、介護者支援は重要課題と言えます。利用者を支えるために、利用者ご本人のみならず家族等の介護者を対象とした援助技術や支援体制、介護者同士の支援等ネットワークの構築、地域のインフォーマルな共同組織などの取り組みや課題を持ち寄り考えていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族活動の現状と課題 ・家族とのケアパートナーシップ ・家族等介護者への支援と課題 ・介護者のネットワークづくりの現状と課題 ・地域のインフォーマルな共同組織活動 ・家族介護の家族の本音とその支援 	<p>I</p>	<p>家族介護者を支える</p>	<p>石川 なんぶやすらぎホーム施設長 坂口 朋美</p>	<p>東京 白十字ホーム施設長 西岡 修</p>

～分科会演題募集～

職員研究交流集会の分科会には毎年 100 本を超えるレポートが提出され、有意義な実践交流が図られます。

日々一生懸命、高齢者に寄り添いながら、ゆたかな援助実践を積み重ねている全国の皆さん、日頃の地道な実践を島根に持ち寄り、ともに学び、ともに育ちあいませんか？ぜひ、分科会一覧表（P4～6）をご参照の上、発表をご検討下さい。発表いただける方は、「演題募集エントリー」用紙（P8）に必要事項をご記入の上、8月31日（日）までに下記の提出先まで FAX にてお送り下さい。



～研究・実践報告の提出について～

当日配布の資料に掲載する原稿を下記のとおりご提出頂くようお願い申し上げます。なお、パワーポイント使用をされる場合には「パワーポイントを用いての発表についてのごお願い」（P9）をご参照下さい。パワーポイント等の使用については、エントリーの時点で申し出があったものしか認められません。

発表原稿様式

A4用紙1枚以内でまとめてください《厳守》

【原稿作成時】 ソフトはWORDを使用。用紙サイズA4/余白：上下・左右とも20ミリ/横書き/1行45字/（1枚以内）。本文の文字：MS明朝/フォントサイズは10.5。原稿本文にはタイトルを明記：下記例示のようにオートシェイプを使用し□で囲む。＜タイトルの文字＞はMSゴシック/フォントサイズは、タイトル12、サブタイトルを付す場合はフォントサイズ9、その他は10.5。章立てをする場合には、章に1、2、3の数字、節に1）、2）、3）のように片）の数字、項に、の囲いのある数字を用い、本文との違いを明確にするためMSゴシックとする。（昨年資料を参照して下さい）

タイトル	(フォントサイズ12)
- サブタイトル	- (フォントサイズ9)
都道府県	所属の施設種別名
職名	氏名 (道府県名以下フォントサイズ10.5)
	施設名

レポートの末尾に、発表者施設の連絡先(問い合わせ先)を記入してください。

WORD ファイル名：【[分散会][県名][施設名][氏名]】(例) A-2 島根 顎淵紅葉苑 松江 弁慶

【原稿送信時】 下記「原稿提出先」の宛先を参照し、E-mail に WORD ファイルを添付して送信して下さい。その際、件名には WORD ファイル名同様、【[分科会][県名][施設名][氏名]】を明記して下さい。発表原稿に写真等を添付する場合、容量が大きいデータは別途記憶媒体に保存の上、郵送をお願いします。

【その他】 発表方法は資料集に掲載されたレジュメ等に基づいてお願いします。発表にあたって、利用者等の個人情報の取扱いについては、事業所の個人情報保護規定に従い、適正な対応をお願い致します。研究交流集会に参加できない方々とも実践交流を図る趣旨で、研究・実践報告(発表)された内容を情報交流誌「ぼとぼら」の特集記事として取り上げることもございますのでご承知下さい。

発表時間 1 演題につき 10～20分程度(各分科会の演題数によって異なるためあくまで目安)

原稿締切 9月30日(火) 必着

原稿提出先 E-mail にて WORD ファイルを添付の上、下記へお送りください。
E-mail : tyoumei@able.ocn.ne.jp

～PowerPoint を用いての発表についてのお願い～

1. 使用機材について

発表に使用する機材はパソコン・プロジェクターとします。パソコン・プロジェクターおよび接続ケーブルは主催者側で準備致します。(なお、「発表演題募集」応募の際、ノートパソコン持参可とお答えいただいた方には、事務局から個々にお問い合わせする場合がありますのでご了解ください)

2. データの事前提出について

あらかじめ、発表データを下記住所に送付いただくこととします。提出はCD-Rにてお願い致します(メール添付はご遠慮ください)。なお、提出の際にはパワーポイントのバージョンを必ずご明記下さい。また、動画の使用は不可です。CD-Rと一緒に、プリントアウトをした紙ベース資料を同封して下さい。また作成の際には、MS明朝、MSゴシック等Windows添付の標準フォントで、写真等を用いる場合は、アクセサリのペイント等で表示される実寸サイズにあらかじめ小さくしたものをご使用いただきますようお願いいたします。

3. 発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンのデスクトップにパワーポイントのファイルをコピーしておきますが、操作は各自で責任を持って行って下さい。予め動作確認などは主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応して頂く事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願い致します。

4. 提出期限

10月31日(金)必着

5. 提出先

特別養護老人ホーム長命園(担当:須山)

〒690-0015 松江市上乃木10-5-2 TEL:0852-27-3884

～各期日を守ってご提出下さい～ 運営にご協力お願いします(._.)

「演題募集のエントリー」〆切は、8月31日(日)です。

エントリー用紙に必要事項をご記入いただき、特別養護老人ホーム長命園(担当:須山)までFAXで送信願います。

FAX: 0852-31-9213

「発表原稿」の提出〆切は、9月30日(火)です。

E-mailにてWordファイルを添付の上、特別養護老人ホーム長命園(担当:須山)までお送り下さい。

E-mail: tyoumei@able.ocn.ne.jp

「PowerPointデータ」の提出〆切は、10月31日(金)です。

データをCD-Rにコピーの上、特別養護老人ホーム長命園(担当:須山)までお送り下さい。

送付先: 〒690-0015 松江市上乃木10-5-2

21老福連・第14回 職員研究交流集会 in 島根



おちらとだんだん

瓦版
第1号

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

実行委員長あいさつ

京都から引き継いだ第14回目の職員研究交流集会を、神話の国・島根で開催することになりました。数年前より「ぼちぼち島根で!」というプレッシャーをひしひしと感じていましたが、なかなか踏ん切りがつかせませんでした。しかし、一昨年の岡山集会での実行委員会が、回を増すごとに結束力が強くなり、集会が無事盛会に終わると「このパワーがあれば島根でも開催できるかも?」という大きな弾みとなりました。奇しくも20年前(1994年)には、21老福連の前身である老人福祉のあり方を考える懇話会(通称:あり方懇)の第3回職員研究交流会を、出雲で開催しました。70数名の参加者でしたが、・尊厳ある援助実践・入居者を主体とした援助実践・ノーマライゼーションの実現を目指した援助実践等々、夜を徹して熱い論議をやったことを、懐かしく思い出します。



さて、情勢は今国会で審議されている「地域医療・介護総合確保推進法案」というこれまでに例のない、医療法と介護保険法の改悪案をセットで議論するという、暴挙が行われています。このことだけでも憤り覚えるものですが、現政権においては、福祉の天敵である戦争を現実のものとする、集団的自衛権の行使容認に道筋をつけたい考えを、前面に打ち出しています。このような極めて危険な情勢のもとで、島根集会は「地域の中心で平和と福祉の縁むすび」をテーマに開催します。「平和なくして福祉なし」と言われるように平和と福祉は不可分な関係にあります。本集会においては、誰もが望む平和と福祉が縁(えにし)の糸で結ばれていることを確認し合い、参加者が全国八百万(やおよろず)の神となって全国各地に持ち帰り、このことを地域の中心で叫んで欲しいと思います。そのためには一人でも多くの参加者を、島根に送り込んでくださるよう、福祉職場で働く全職員の皆様に訴えたいと思います。

実行委員長 常陸 実 (社会福祉法人ひまわり福祉会理事長)

開催地 島根県松江市
期間 2014年12月13日(土)~15日(月)
テーマ
「地域の中心で平和と福祉の縁むすび」

いまこの時代だからこそ、地域の中心となる施設として、平和と福祉を目指していきたい...

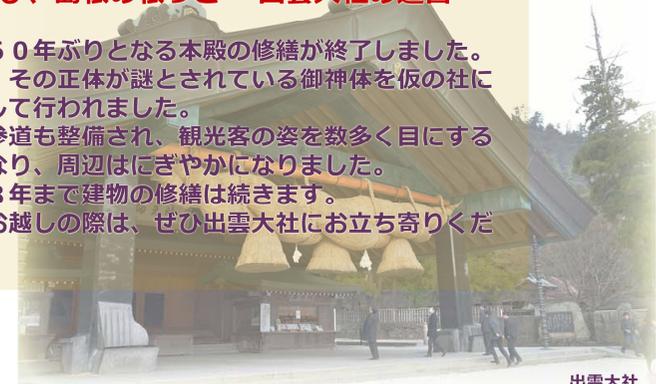
サブテーマ
高めよう人間性! 極めよう専門性!
今こそ地域の根っこにならっしゃい

地域の根っこに
なってください



~縁結び、島根の根っこ~ 出雲大社の遷宮

昨年、60年ぶりとなる本殿の修繕が終了しました。工事は、その正体が謎とされている御神体を仮の社に一旦移して行われました。近年、参道も整備され、観光客の姿を数多く目にするようになり、周辺はにぎやかになりました。平成28年まで建物の修繕は続きます。島根にお越しの際は、ぜひ出雲大社にお立ち寄りください。



出雲大社

主催
「21・老福連」とは

「21・老福連」の正式名称は『21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会』です。1998年「介護保険・全国老人ホーム施設長アンケート」をきっかけにして2001年に設立しました。介護保険が導入される中、真に利用者のための福祉と福祉労働の保障と発展のために「豊かな援助実践と公的福祉の確立」を目指す働きをすすめています。

「職員研究交流集会」とは

「職員研究交流集会」は、全国で働く仲間が多くの実践報告・研究等を発表し、学び、悩み、語り合いそして、元気を分かち合う場です。毎年開催され、島根大会で第14回を迎える事となります。昨年の「京都大会」では、全国から、454名の参加があり、分科会では146演題の実践報告がありました。

21老福連 第14回職員研究交流集会 in 島根～参加・宿泊等のご案内～

【1】お申込方法のご案内

参加者は申込書に必要事項を記入の上、10月15日(水)までに名鉄観光へFAX又は郵送にてお申込ください。電話による申込はトラブルの原因となりますのでご遠慮ください。

お申込締切日：2014年10月15日(水)厳守願います

お申込受付後、11月上旬に名鉄観光より参加確認書(参加券、宿泊案内など)と請求書・振込依頼書をお送りします。

請求書をご確認の上、11月21日(金)までに指定の振込口座へお振込みください。振込み手数料については、お客様ご負担とさせていただきます。

【2】21老福連職員研究交流集会 参加費のご案内

参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	6,000円	8,000円	10,000円

【3】宿泊のご案内

ご宿泊期間 平成26年12月13日(土)、14日(日) 1泊朝食サ・税込み

記号	宿泊施設名	部屋タイプ	料金(お一人様)	JR松江駅からのアクセス
1	松江東急イン	Aシングル	11,000円	徒歩2分
		B ツイン	10,000円	
2	ドリーインエクスプレス松江	Aシングル	10,000円	徒歩3分
3	グリーンリッチホテル松江駅前	Aシングル	7,800円	徒歩3分
		B ツイン	7,300円	
4	ホテルアルファワン松江	Aシングル	7,800円	徒歩4分
		B ツイン	7,300円	
5	松江アーバンホテル	Aシングル	7,800円	徒歩3分
		B ツイン	7,300円	
6	ホテルアルファワン第2松江	Aシングル	7,800円	徒歩2分
7	東横イン松江駅前	Aシングル	7,300円	徒歩3分
8	ホテル一畑	Aシングル	12,400円	車5分
		B ツイン	12,400円	
9	松江ニューアーバンホテル(別館)	Aシングル	9,800円	車5分
10	松江ニューアーバンホテル(本館)	Aシングル	7,800円	
11	ホテルルートイン松江	Aシングル	7,200円	車5分
		B ツイン	7,200円	

同室希望者の方は、参加申込書該当欄にご記入ください。

宿泊申込の場合(上記記号 客室タイプ番号)ご記入ください。(例 松江東急インシングル希望の場合:1-A)

ホテルは先着順です。第一希望・第二希望とも満室の場合、表記以外のホテルも案内させていただきます。

【4】交流会のご案内

期日：平成26年12月13日(土) 時間：19時00分～
会場：ホテル一畑 2階平安の間
交流会費：9,000円

【5】お弁当のご案内

希望販売にて注文をうけたまわります。ご希望の方は、申込書にご記入ください。

弁当配布日：12月14日(日) 昼食 (お弁当) お1人1,000円

【6】変更・取消についてのご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要となります。変更・取消の場合は、必ずFAX又は郵送でご連絡ください。

また、変更・取消後の返金については、本会終了後速やかに行ないますので予めご了承ください。

取消日	参加費	宿泊取消料	弁当取消料	懇親会取消料
申込後	100%	無料	無料	無料
21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
20日目にあたる日以降の解除	100%	無料	無料	無料
7日目にあたる日以降の解除	100%	20%	無料	無料
旅行開始日前日の解除	100%	50%	50%	100%
旅行開始日の当日の解除	100%	100%	100%	100%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引いて、大会終了後に精算致します。

変更・取消などによるご精算は、大会終了後に指定の口座へお振込致します。

(事務手続き上、多少お時間を頂戴しますので、予めご了承下さい。)

大会当日のご返金は事務手続き上できません。

【7】参加申込み・宿泊・交流会・弁当手配等についてお問い合わせ先

〒690-0003

島根県松江市朝日町484番地16(住友生命松江ビル7階)

名鉄観光サービス株式会社 山陰営業所 『21・老福連 第14回職員研究交流集会』係

担当：楠(くすのき)、原(はら)、鈴木(すずき)

TEL:0852-60-7001 FAX:0852-60-7002

営業時間：月～金曜日 9:00～18:00、土・日・祝日休み

地図 各会場と宿泊施設のご案内



各会場までのご案内

各会場の一般駐車場（有料）をご利用できますが、収容台数に限りがございます。公共交通機関または松江駅周辺の有料駐車場をご利用ください。

1. 松江駅から各会場への距離と会場駐車場について

会場	距離	収容台数	備考
くにびきメッセ	約 1.0km	441 台	3 時間無料。 以後 5 時間まで 1 時間ごと 100 円
松江市民活動センター 市営白潟駐車場	約 0.9km	135 台	4 時間まで 30 分 100 円。 センター利用による割引券有
労働者福祉会館	約 0.4km	30 台	会館利用者 1 時間 50 円

2. バス

くにびきメッセと松江市民活動センターの会場へは市営バス又は一畑バスもご利用いただけます。松江駅からくにびきメッセへはくにびきメッセ前、松江市民活動センターへは天神町にて下車していただきますと会場周辺になりますのでご利用ください。

3. タクシー

松江一畑交通	0852-21-4334	ミツワタクシー	0852-25-3030
第一交通	0852-21-5000	双葉タクシー	0852-28-0028
ふくタクシー	0852-27-7733	川津タクシー	0852-26-2040
日本交通	0852-21-5127	島根日本交通	0852-23-3151
乃木タクシー	0852-21-4345	クラウンタクシー	0852-21-5151

『21・老福連 第14回職員研究交流集会』 参加申込書

送信先

名鉄観光サービス(株)山陰営業所 担当：楠・原・鈴木行 FAX：0852-60-7002

申込日：平成26年 月 日

県名	県	施設名	
住所	〒 -		担当者氏名
			電話 () -
			FAX () -

No	フリガナ	性別	職名	参加費			交流会 12/13 (土) 9,000円	宿泊希望日			弁当 12/14 (日) 1,000円	分科会 12/14(日) 座長・記録・助言者・発表者の方は役割の欄にご記入ください。			備考 (ツイン同泊者、禁煙・喫煙等)	名簿への氏名記載の可否 記入漏れの場合可能と判断させていただきます。
	参加者氏名			1日間参加費 6,000円	2日間参加費 8,000円	3日間参加費 10,000円		ホテル希望	12/13 (土)	12/14 (日)		第1希望	第2希望	役割		
例	シマネ タロウ	男	施設長					第1希望	1-B	1-B		A-2	A-3	座長	島根 一郎 禁煙	×
	島根 太郎						第2希望	1-A	1-A							
1								第1希望								
								第2希望								
2								第1希望								
								第2希望								
3								第1希望								
								第2希望								
4								第1希望								
								第2希望								
お申込金額計算欄		参加費計		交流会費計		宿泊費 第1希望 基準	12/13泊計	12/14泊計	弁当代計		総合計					
		円		円			円	円	円		円					

<注意事項> ツインルームご希望の場合は必ず同室者名をご記入ください。 郵送の場合は必ず控えをおとりください。 4名以上の場合はコピーをしてお使いください。

<返金先口座記入欄> (返金の際、手数料は差し引いて下記口座にて清算いたします。口座名義はカタカナにて記入下さい。)

申込締切：10月15日(水)

金融機関名	銀行	支店名	支店	口座番号	普通・当座	口座名義
-------	----	-----	----	------	-------	------

当申込書に記載された個人情報、運営管理の目的のみのために使用いたします。

<弊社使用覧>

上記、受領いたしました。

手話通訳・要約筆記が必要な場合は「現地実行委員会事務局」までご連絡を御願いたします。

月 日 受付者